株式会社コンセック

# 第52期 中間株主通信

平成30年4月1日～平成30年9月30日

## To Our Shareholders

株主の皆さまへ

## 「時代のニーズに独自技術で応え、新時代に対応した技術開発に挑戦し続ける企業を目指します。」

取締役社長　福田 多喜二

株主の皆さまには、平素よりコンセックならびにコンセックグループ各社に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第52期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

当期間における我が国の経済は、雇用、所得環境の改善が続く中、米国の通商問題による影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続いてまいりました。

当社グループが主として属する土木建設業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都圏でのインフラ整備等がある程度一巡した感があり、また、人手不足も拡大するなど、多くの課題を抱える状況にあるように感じられます。

このような環境の中、当社グループは様々な顧客のニーズに対応し、積極的な営業展開に努めてまいりました。一方、7月の西日本豪雨災害、台風の上陸、北海道での地震等の自然災害の影響も受けました。この結果、当期間の売上高は47億61百万円（前年同期比1.3％増）となりました。損益面では、営業損失26百万円（前年同期は営業損失61百万円）、経常利益は17百万円（前年同期は経常損失37百万円）となりました。特別利益として投資有価証券売却益など1百万円（前年同期は投資有価証券売却益など90百万円）、また、特別損失として、固定資産除売却損など5百万円（前年同期は減損損失など70百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は21百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失55百万円）となりました。

通期の見通しにつきましては、米国トランプ政権の保護貿易主義を巡る各国との対立激化と実体経済への影響、中東情勢の緊迫化などの地政学リスク、欧米の政治的な混乱、米国の金利上昇などによって国際金融市場が混乱し世界経済が減速する可能性もあり、こうした状況を受けて急速な円高が進む懸念があります。

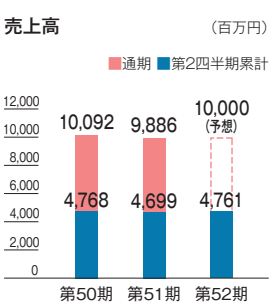
また、国内では平成31年10月に消費税率が10％に引き上げられると想定されていますが引き上げ幅が2％と小幅であり、一部に軽減税率が適用されることなどから、駆け込み需要・反動減とも前回と比べて小規模に留まると見込まれます。翌年には、東京オリンピック・パラリンピックを控えていること、雇用情勢の改善が続くこともあって、消費者マインドの悪化は一時的なものに留まると思われます。

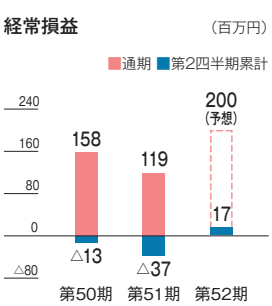
このような経済環境の中、当社ならびにグループ各社はお客さまとの対話を大切にし、お客さまの求める商品・サービスの提供・提案を行い売上増と安定した収益基盤の構築に努めてまいります。

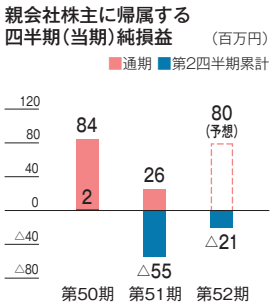
株主の皆さまにおかれましては今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

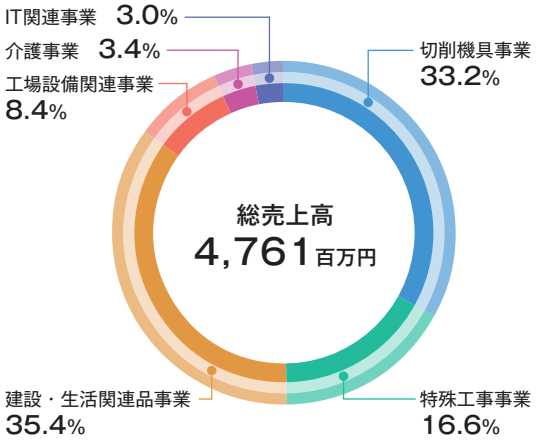


# Segment Review

## 事業区分別の概況

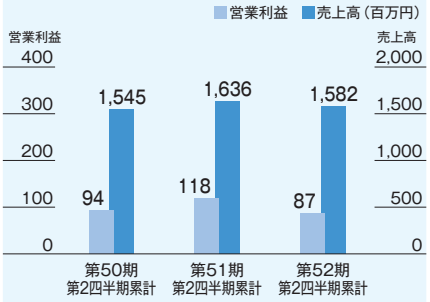



事業区分別売上高等は以下のとおりです。

| 事業区分 | 売上高 | 営業利益 | 対前年同期売上高増減率 |
|---|---|---|---|
| 切削機具事業 | 1,582 百万円 | 87 百万円 | △3.3 % |
| 特殊工事事業 | 792 | 21 | 8.9 |
| 建設・生活関連品事業 | 1,684 | 22 | 1.2 |
| 工場設備関連事業 | 398 | 24 | 12.3 |
| 介護事業 | 164 | △13 | △5.9 |
| IT関連事業 | 141 | 5 | △1.6 |
| 合　計 | 4,761 | 146 | 1.3 |

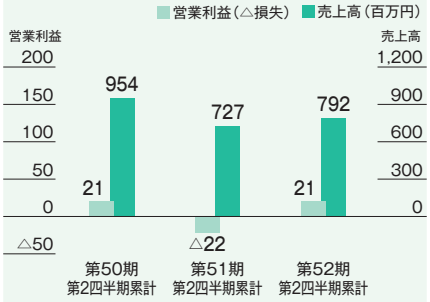
(注)1. 上記売上高の金額は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。
2. 上記営業利益の金額は、全社費用等を差し引いておりません。
3. 金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入しております。

## 切削機具事業



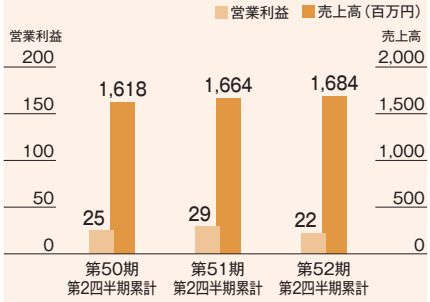

切削関連機器の売上は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラの整備、耐震工事等一巡した感があり、得意先からの建設工事用穿孔、切断、切削機器及びその消耗品の受注が低調に推移し、売上高、営業利益は前年同期を下回りました。

## 特殊工事事業



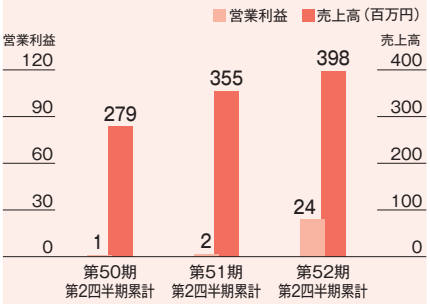

西日本豪雨災害の影響で受注工事の遅延等の機会損失があったものの、インフラ整備、耐震工事関連等における受注は回復し、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

## 建設・生活関連品事業



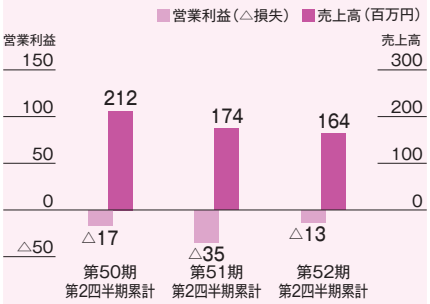

建設関連工事物件の増加により、受注が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りましたが、営業費用の増加により、営業利益は前年同期を下回りました。

## 工場設備関連事業



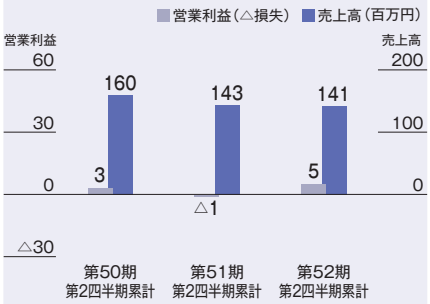

西日本豪雨災害により被災したものの主要顧客からの大口受注が継続的に続き、売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

## 介護事業




昨年9月にデイサービス3事業所を閉鎖したことにより、売上高は前年同期を下回りましたが、営業費用の圧縮により営業損失は前年同期と比べ改善いたしました。

## IT関連事業




ソフトウエアの受託開発等の受注が多少低調に推移したため、売上高は前年同期を下回りましたが、売上原価低減に努めた結果、営業利益を計上することができました。

## ― 株主優待制度一部変更のお知らせ ―

当社では、毎年3月31日及び9月30日の時点で当社株式を保有している株主さまに、保有株式数に応じて、健康飲料水『ラ・バモントライト』と『ふりかけ詰合せ』をセットにしてお贈りしています。このたび、単元株式数の変更及び株式併合に伴い、以下のとおり変更させていただきます。

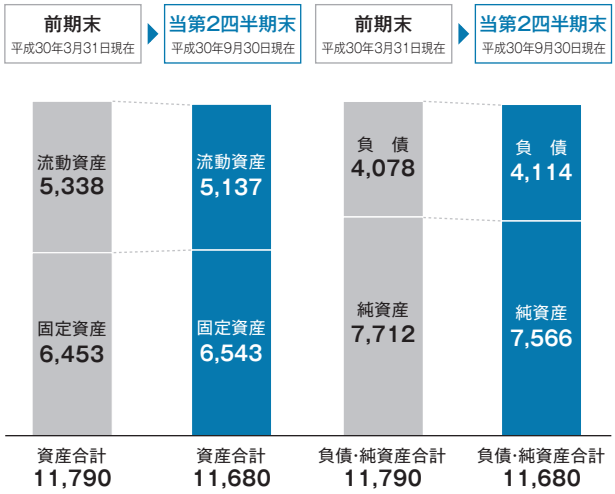
| 平成31年3月末以降ご所有株式数 | 優待内容 |
|---|---|
| 100株～399株 | 健康飲料水『ラ・バモントライト』1本と『ふりかけ詰合せ』 |
| 400株～999株 | 健康飲料水『ラ・バモントライト』2本と『ふりかけ詰合せ』 |
| 1,000株～ | 健康飲料水『ラ・バモントライト』3本と『ふりかけ詰合せ』 |

## Consolidated Financial Statements Point

連結財務諸表のポイント

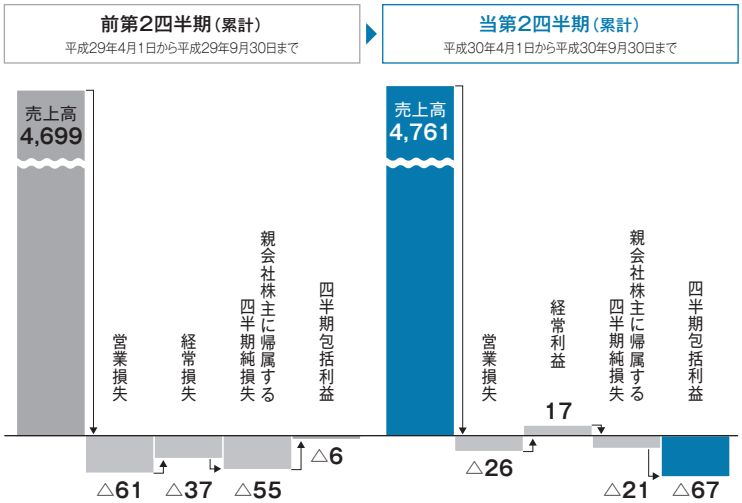
### 四半期連結貸借対照表の概要

（単位:百万円）




### 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書の概要

（単位:百万円）




## Corporate Profile

会社情報

### 会社の概要

（平成30年9月30日現在）

**社　　名**　株式会社コンセック（CONSEC CORPORATION）

**本社所在地**　広島市西区商工センター四丁目6番8号
TEL（082）277−5451（代表）

**設　　立**　昭和42年11月6日

**資 本 金**　40億90百万円

**従業員数**　連結：427名　単独：229名

**ホームページ**　http://www.consec.co.jp/

**連結子会社**

祥建企業股份有限公司（台湾・新北市）
南通康賽克工程工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
南通康賽克半導体工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
北斗電気工業株式会社（広島県呉市）
株式会社サンライフ（広島市西区）
株式会社デンサン（広島市南区）
山陰建設サービス株式会社（鳥取県米子市）
建設サービス島根株式会社（島根県松江市）

**主な事業内容**

**【切削機具事業】**
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造及び販売

**【特殊工事事業】**
アンカー工事、コアーボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等

**【建設・生活関連品事業】**
建設機械・工具、住宅・OA機器、生活関連機器等の販売

**【工場設備関連事業】**
自動制御盤、配電盤等の製造及び販売

**【介護事業】**
デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者向け賃貸住宅、障がい者デイサービス

**【IT関連事業】**
ソフトウエア受託開発、人材派遣

### 役員

（平成30年9月30日現在）

| | |
|---|---|
| 代表取締役会長 | 佐々木　秀　隆 |
| 取締役社長 | 福　田　多喜二 |
| 常務取締役 | 三　中　達　雄 |
| 取締役 | 寺　本　泰　之 |
| 取締役 | 原　田　文　栄 |
| 取締役（社外） | 藤　原　光　広 |
| 常勤監査役 | 竹　本　敏　範 |
| 監査役（社外） | 長　井　紳一郎 |
| 監査役（社外） | 廣　本　邦　幸 |

### ネットワーク

（平成30年9月30日現在）

| | |
|---|---|
| 支店 | 東京、大阪 |
| 営業所 | 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他19ヶ所 |
| 事業所 | 貿易グループ |
| 工場 | 広島工場 |
| 物流センター | 広島配送センター |

# Stock Information

株式の状況

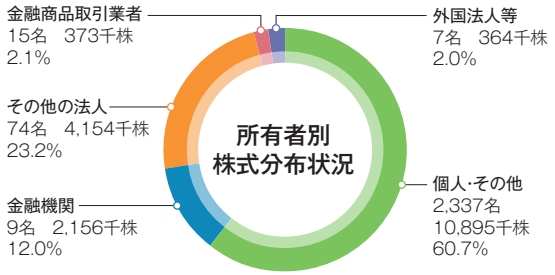
## 株式の状況（平成30年9月30日現在）

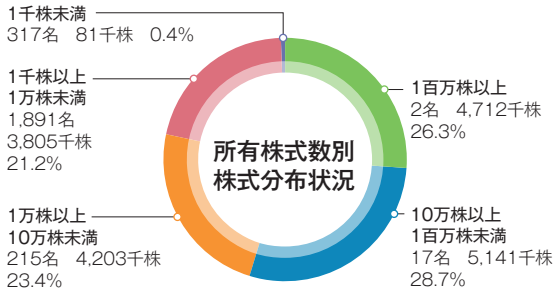
| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 28,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 18,640,112株 |
| 株主数 | 2,442名 |

大株主（上位10名）

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---|---|---|
| 日本鉱泉株式会社 | 2,692,000株 | 15.0% |
| 佐々木　秀隆 | 2,020,000 | 11.3 |
| コンセック従業員持株会 | 610,592 | 3.4 |
| 株式会社もみじ銀行 | 583,200 | 3.3 |
| コンセック役員持株会 | 485,000 | 2.7 |
| 株式会社ライフステージやまと | 485,000 | 2.7 |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 434,000 | 2.4 |
| 朝日生命保険相互会社 | 314,000 | 1.8 |
| 西川物産株式会社 | 310,000 | 1.7 |
| 山戸通彰 | 300,000 | 1.7 |

（注）1.当社は、自己株式を697,865株保有しておりますが、上記株主数及び大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。




（注）上記株式分布状況からは、自己株式（1名697,865株）を除外しております。

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777（通話料無料） |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード） |
| 公告の方法 | 電子公告により行う<br>公告掲載URL http://www.consec.co.jp/<br>（ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。） |

（ご注意）

1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

http://www.consec.co.jp/

当社のホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

### 株式併合及び単元株式数の変更に関するお知らせ

本年10月1日を効力発生日として、普通株式につき10株を1株の割合で併合するとともに、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。なお、本株式併合の結果、1株に満たない端数株式が生じた場合には、法令に基づき、これを当社が一括して処分し、その代金を端数が生じた株主さまに対して、端数の割合に応じてお支払いいたします。
株式併合及び単元株式数の変更につきまして、ご不明な点は、お取引の証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問合わせください。


CONSEC 株式会社コンセック
広島市西区商工センター四丁目6番8号　TEL（082）277−5451（代表）